平成29年度

部活動の成績（4～6月）

【弓 道】
◆春季大会
・男子団体
羽工A 14位タイ
羽工B 18位タイ
・女子団体
羽工 31位タイ
◆総 体
・男子団体 10位

【バレーボール】
◆石川県バレーボール祭
・1回戦敗退
本校0－2野々市明倫
◆総体
・決勝トーナメント
1回戦敗退

【ソフトテニス】
◆石川県高等学校ソフトテニスシングルス選手権大会に出場
◆総体七尾地区予選
・男子7ペア出場
全ペア県総体出場
中村・柳組 3位
船本・金井組 ベスト8
辻花・出口組 ベスト8
◆総体
・個人戦
辻花・出口組 北信越出場
・男子団体
2回戦 本校③－0寺井
3回戦 本校②－1小松工
準々決勝 本校②－0穴水
準決勝 本校1－②能登
◆北信越 1回戦
辻花・出口組4－3長岡商
2回戦
辻花・出口組0－4富山工

【バスケットボール】
◆石川県高等学校バスケットボール大会能登地区予選
本校129－43七尾東雲
県大会出場
◆石川県高等学校バスケットボール大会（張江杯）
1回戦
本校92－57小松市立
2回戦 本校70－81星稜
ベスト16
◆総体
2回戦 本校84－66金沢西
3回戦
本校71－78金沢二水
ベスト16

【卓 球】
◆国民体育大会卓球競技（少年の部）石川県代表選考会
・男子シングルス
坂本 純兵 ベスト32
◆総体
・男子団体 2回戦敗退
本校0－3金沢桜丘
・女子団体 準々決勝敗退
本校0－3金沢学院
ベスト8
・女子ダブルス
小橋・西山組 ベスト8

【柔 道】
◆石川県高校春季柔道大会
・男子団体
1部トーナメント
2回戦 本校3－2金沢B
3回戦 本校0－2県工A
ベスト8
◆総体
・団体 1回戦
本校4－1金沢学院
2回戦 本校2－3鶴来
ベスト8
・個人
66kg級 谷島 隼 5位
100kg超級 隆 聖竜 2位
（2名北信越大会出場）
◆北信越
・個人 66kg級 谷島 隼
1回戦×－○高田北城
100kg超級 隆 聖竜
2回戦○－×長野日大
3回戦×－○福井工大福井

【剣 道】
◆春季大会
・男子団体 2回戦
対七尾高校 勝利
準々決勝
対飯田高校 勝利
準決勝
対金沢桜丘 敗退 3位
・女子団体
中嶋陽南1名で団体
1回戦 対飯田 勝利
2回戦 対金沢西 勝利
準々決勝
対星稜 ベスト8
優秀選手賞と敢闘賞を受賞
◆総体
・男子団体 準々決勝
本校3－2県立工
準決勝
本校2－1航空石川
決勝
本校1－0星稜 優勝
団体戦インターハイ出場権獲得
・個人戦 盛本 優勝
インターハイ 北信越出場
中野 第3位 北信越出場
大森 ベスト32
山本 ベスト32
加地 ベスト32
◆北信越
・男子個人戦
2回戦 盛本○－×屋代
中野○－×丸岡
3回戦
盛本○－×富山第一
中野○－×新潟商
準々決
盛本×－○新潟商
中野×－○新潟商
ベスト8 2名
・男子団体 予選 1回戦
本校4－0富山東
2回戦
本校3－0敦賀気比
3回戦
本校4－0松商学園
4回戦
本校0－2新潟商
予選2位通過
準々決 本校3－1富山
準決 本校1－3新潟商
男子団体第3位

【サッカー】
◆春季大会
本校10－3鹿西
本校4－0内灘
本校2－1県立工
本校1－4航空石川
本校1－2小松工
◆総体
2回戦 本校11－0飯田
3回戦
本校0－2金沢桜丘

【ラグビーフットボール】
◆中谷賞・北陸放送旗争奪ラグビーフットボール大会
・第3位
◆北信越
Cブロック 1回戦
本校10－45若狭
3位決定戦
本校52－10敦賀工
Cブロック第3位

【ヨット】
◆JOCジュニアオリンピックカップ
・420級
6位 河崎・永田組
27位 和泉・網江組
53位 高津・坂口組
65位 飯井・堀川組
68位 平木・小作組
・FJ級
5位 中山・平野組
14位 本間・中田組
◆総体
・420級
男子優勝 河崎・永田組
女子優勝 高津・小作組
・FJ級
男子優勝 中山・平野組
2位 本間・中田組
3位 飯井・堀川組
女子優勝 平木・坂口組
2位 和泉・網江組
・男子シングルハンダー級
優勝 中山 喬皓
2位 飯井彰智加
・女子シングルハンダー級
優勝 高津ちあき
2位 坂口 陽音
3位 小作 夏未
・河崎・永田組は12月からの世界選手権に出場
◆北信越
・420級
男子優勝
河崎聖・永田魁組
女子優勝
高津ちあき・小作夏未組
・FJ級
男子優勝
中山喬皓・平野拓也組
2位
本間聖也・中田寛輝組
4位
飯井彰智加・堀川 元組
女子優勝
平木美帆・坂口陽音組
2位
和泉美紀・網江七海組
・男子シングルハンダー級
優勝 岩城 海聖
・女子シングルハンダー級
優勝 河崎 姫弓

【野 球】
◆北信越地区高等学校野球石川大会（春）
1回戦
本校0－4x金沢泉丘

【相 撲】
◆高等学校相撲金沢大会
・団体予選 1回戦
本校1－2中津東（大分）
2回戦 本校3－0小松商
3回戦
本校3－0明野（三重）
・決勝トーナメント2回戦
本校0－3野村（愛媛）ベスト32
・個人1回戦
隆 聖竜×－○金沢学院
◆総体
・団体リーグ 1回戦
本校0－5金市工
2回戦
本校0－5金沢学院
3回戦 本校3－2羽咋
4回戦 本校3－2飯田
団体戦2勝6点で3位、十和田大会に出場決定。
・個人戦
1回戦
大門 諒大×－○金市工
横田 拓邦×－○金市工
加茂野 蓮×－○金沢学院
恒川 龍紀×－○羽咋
中山 豪×－○金市工
井高 和暉×－○金市工

【囲碁・将棋】
◆全国高校将棋選手権石川県大会
・B級個人
0勝2敗 八田
0勝2敗 松村
◆全国高校囲碁選手権石川県大会
・男子団体線 第2位
・女子団体戦 第2位
・個人戦
山田 真夕 第3位
金巻 興樹 第2位
全国高校囲碁選手権大会出場（金巻）

【写 真】
◆総合文化祭美術展に出展

【書 道】
◆総合文化祭美術展に出展

【美 術】
総合文化祭美術展に出展

【デザインコース】
◆愛鳥週間ポスターコンクール
・優良賞
板部姫奈、出雲なずな、福田ちの、南出汐里、山田真夕

高校総体優勝への軌跡

剣道部　大森　望

私たち剣道部は、総体で優勝し、インターハイ団体ベスト8を目標に、毎日朝夕練と休日は遠征の日々でした。しかし、県内大会では新人戦、選抜予選ともライバルの星稜高校に負け、準優勝でした。

総体は、一回戦から非常に苦しい戦いが続きました。「勝たなければならない！」というプレッシャーから、いつもの動きができず、窮地に追い込まれた場面も何度もありました。「負けてしまうかも・・・」と思った瞬間もありました。しかし、大将の盛本がどんな場面でも落ち着いた試合展開で勝ってきてくれました。

そして決勝戦。相手は三度目の星稜高校。先鋒大森引き分け。次鋒中野引き分け。中堅山本引き分け。副将加地引き分け。大将盛本引き分け。

互いに譲らず、一本の有効打もなく、勝敗が決しないため、代表決定戦になりました。代表決定戦は、時間無制限でどちらかが一本をとれば勝ちです。中越先生は盛本を指名しました。

代表決定戦が始まり、会場内のすべての人達が固唾をのんで試合に見入っていました。私たちは盛本を信じるだけでした。神様に何度もお願いしていました。試合時間は三十分を超え、それでも互いに一瞬も気を緩めない緊迫した時間が続きました。

私の心臓はずっと高鳴っていました。

ついにその時はきました。相手が不用意に面を打つ瞬間、盛本が先に小手を打ちました。白旗三本が一斉に上がりました。私達は正座から飛び上がりました。

言葉では表現できない歓喜の気持ちが込み上がってきました。夢が叶った瞬間でした。

試合が終わって退場し、先生の話を聞きました。先生の顔は涙でぐちゃぐちゃになっていました。私達全員もぐちゃぐちゃになるほど涙があふれました。

振り返ると、ここまでこれたのは、親の支えがあったからだと思います。毎日朝早く起きて、弁当を作り、食事で健康面を考えてくれた母。父にも話を聞いてもらい心配をかけました。次から次へと多くの人々に対し感謝の気持ちがわいてきました。

すべての人々への感謝の気持ちを込め、来たる宮城インターハイでは目標のベスト8を勝ち取ってきます。

第51回校内陸上競技大会

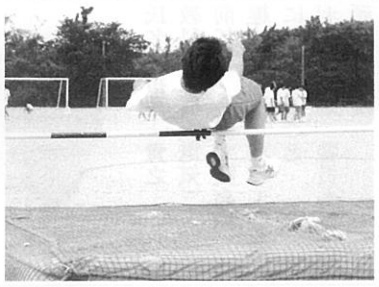
六月七日に第五十一回陸上競技大会がおこなわれました。天候はいまひとつでしたが、全生徒が競技に対して真剣に取り組み、クラス対抗の応援も熱をおびたものになりました。各対抗戦及び種目優勝者は以上の通りです。

【男女総合クラス対抗の部】
各学年優勝クラス
一年 12H
二年 22H
三年 33H

【女子学年対抗の部】
優勝 三年女子

【男子の部】
100m
一年優勝 岡原 滉聖
二年優勝 叶田健太郎
三年優勝 古川ひかる

200m
一年優勝 亀田 凌汰
二年優勝 木場 深智
三年優勝 山田 竜滉
400m
一年優勝 山田 康平
二年優勝 山下 司
三年優勝 藤原 裕樹
800m
一年優勝 高橋 大翔
二年優勝 野見 陸斗
三年優勝 中洛 貴志
2000m
一年優勝 中村 蓮
二年優勝 田村 亮輔
三年優勝 山口未来也



走高跳
一年優勝 定免 研汰
二年優勝 寺本 浩佑
三年優勝 金田 紳吾

走幅跳
一年優勝 葉佐 恒太
二年優勝 坂本 拓海
三年優勝 西 晃矢
三段跳
一年優勝 吉田 樹生
二年優勝 打越 覇人
三年優勝 西 晃矢
ジャベリック投
一年優勝 辻森 魁乙
二年優勝 柳浦 太陽
三年優勝 田上 竜大
円盤投
優勝 嘉治 竜雄
4×100mリレー
一年優勝 11HA
二年優勝 22HA
三年優勝 32HA
4×400mリレー
一年優勝 12HA
二年優勝 23H
三年優勝 31HA

【女子の部】
100m
優勝 出村 巴菜
200m
優勝 山田 真夕
1000m
優勝 猿田 楓

走高跳
優勝 高津ちあき
走幅跳
優勝 河崎 姫弓
ジャベリック投
優勝 小作 夏未
円盤投
優勝 大根 結萌
4×100mリレー
優勝 23H

編集後記

羽工新聞の一次校正をしていて感じたことがあった。新任者一覧に自分の写真があった。私は今から十二年前の羽工新聞に新任者として掲載していただいた。まだ二十代後半で当時の写真は非常に若い青年だった。時を経て、また羽咋工業高校でお世話になることになり、今一度新任者欄に掲載されている自分の顔は若干中年の顔に写っていた。しかし、ただ年齢を重ねただけではないと思っている。生徒に対する情熱は変化していない。ただ家族を持つことで、生徒に対する接し方は大きく変化した。

再度母校での勤務をさせていただける喜びを再確認し、いまだ衰えない情熱と年齢を重ねたからこそ可能な冷静な判断で、生徒への愛情を持って活動していきたい。

最後に発刊に際して、学校長をはじめ、多数の先生方や生徒のご協力に関して、感謝申し上げます。